



FRIENDLY REPORT

第68期 報告書

2021年4月1日→2022年3月31日

株式会社フレンドリー

証券コード：8209

当社は持続的成長かつ収益基盤の安定化に向けた収益力向上を実現してまいります

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第68期（2022年3月期）の報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により全国的に緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が発出され厳しい状況が続いておりましたが、ワクチン接種の普及等の効果もあり、新規感染者数が減少に転じ、社会活動に緩やかな回復の兆しがみられる状況となっております。しかしながら2022年年初からはオミクロン株の急激な感染拡大が続き、まん延防止等重点措置が改めて発出されました。さらに、国際情勢の緊迫化、原油価格や原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当外食業界においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い外食需要が再び減少に転じるなど、先行きの見通せない大変厳しい経営環境が続いております。また、テイクアウトやデリバリー販売といった感染動向に左右されにくいビジネス展開に取り組む企業の増加など、外食業界をとりまく環境が大きく変化しております。

このような環境のもと、当社は持続的成長かつ収益基盤の安定化に向けた収益力向上を実現するため、以下の取り組みを行っております。

①営業施策による売上高・客数向上

当事業年度は、全店舗コロナ禍により営業時間の短縮を行ってまいりましたが、2021年12月27日より全店22時閉店と営業時間の延長を図ることにより今まで以上の売上額を獲得できております。

さらに2022年1月より営業開始時刻を1時間前倒しする事で今までご利用されることのなかったお客様のさらなる集客につながっており、引き続き積極的に営業時間の見直しをテイクアウトやデリバリー需要も含めて検討してまいります。また、新たな商品カテゴリーとして2022年2月より導入しました「丼」の販売が好調であり多数の新規客の獲得につながっております。今後も競合他社との差別化を目指して「うどん」「丼」以外の商品カテゴリーの導入を検討すると共に、テイクアウトやデリバ

リーにおいても注文率の高い「うどん弁当」を核とした販売拡大や昨年導入した自社アプリを積極的に活用したデジタルマーケティングを強化してまいります。

②原価低減活動の継続実施と生産性の更なる向上による収益性向上

当社は、2020年8月より収益性を更に高める観点から、本社の遊休施設を活用して「カミサリー」（食品加工工場）を設立することで、店舗オペレーションの効率化による収益性の向上を図ってまいりました。

今後は、カミサリーの効果を活かした社内加工品目数を増やすことで、さらなる収益性・生産性の向上を目指してまいります。

また、当社の主要食材である小麦・食用油が著しく値上がりしていることから主要食材に依存しない新カテゴリーの「丼」の売上構成比を増加させることにより、原価率上昇を抑制してまいります。

③業績管理の日次・月次でのきめ細かい分析とスピーディーな経営判断による業績向上

店舗の業績管理においてきめ細かい分析とスピーディーな経営管理・判断を行うべく、スーパーインテンドント（3～4店舗を統括する責任者）制度の

導入により個店の経営指導力の強化を図ると共に、スーパーインテンドントの管理業務を支援する情報処理システムを導入し、適切なコストコントロールを全店舗で行い収益改善並びに業績向上を目指してまいります。

当事業年度は新規出店を行っていないため、店舗数は27店舗で前事業年度末から変更ありません。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,746,344千円（前期比7.8%減）、営業損失は301,677千円（前期は営業損失643,484千円）、経常損失は114,810千円（前期は経常損失458,262千円）、当期純損失は158,712千円（前期は当期純損失252,380千円）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束は見えず、先行きの見通せない大変厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような環境下ではありますが、当社は、「お客様満足度」の向上を徹底して追求していくことにより、業績の回復を図ってまいります。

2022年6月

代表取締役社長 國吉 康信



※商品イメージ写真（実際に店舗で提供される盛付けとは異なります）

2022年3月期

商品の取り組み

香の川製麺に業態を絞り込んで1年が経過し、自社独自の核商品の育成を目指して、地元大阪近辺になじみが深く2012年頃大阪を中心に大流行した「キムラ君」（キムチとラー油を使った商品）や尼崎のローカルフードであり、牛すじを使用した「ぼっかけうどん」など、他社にはない特徴ある商品を投入することにより、お客様より高い評価を得ることができました。

さらに新カテゴリーとして「丼」を販売することによって新規顧客の獲得や客単価向上に大きく寄与したため、引き続き「丼」メニューの拡充を進めてまいります。

また、コロナ禍において持ち帰りの需要が高まる中、持ち帰り商品の充実を目指して季節に合わせた「うどん弁当」を11品、中津唐揚げ10個セットなどファミリー向け持ち帰り商品の強化を進めました。



キムラ君

販売促進活動・デジタルプロモーションの推進

クリエイター「遊楽舎」とのコラボレーションによる販売促進活動により、新規顧客の開拓が進んだとともに、コラボを通じてTwitterのフォロワーを多数獲得することができたため、新たな香の川製麺のファンの獲得につながりました。

また全国にブランド名を知っていただくことができましたので、関東地方他各地で出店のご要望をいただくことができました。

さらに、自社アプリの投入により、ご来店時のスタンプを集めると景品が貰えるルーレットや、クーポン・特典などを配信することができるようになったため、今後はアプリの使用頻度が向上する取り組みを行うことで、既存顧客の来店頻度向上に大きく寄与すると共に新規顧客の獲得につなげてまいります。



フレンドリー公式アプリ

※画像はイメージです。

貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2022年3月31日現在	前期末 2021年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	356	345
固定資産	843	1,215
有形固定資産	506	754
無形固定資産	0	-
投資その他の資産	336	461
資産合計	1,200	1,561
(負債の部)		
流動負債	312	408
固定負債	727	2,432
負債合計	1,039	2,841
(純資産の部)		
株主資本	69	△ 1,371
資本金	50	100
資本剰余金	192	8,333
利益剰余金	△ 158	△ 9,791
自己株式	△ 14	△ 14
評価・換算差額等	91	91
土地再評価差額金	91	91
純資産合計	160	△ 1,280
負債・純資産合計	1,200	1,561

損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで
売上高	1,746	1,894
売上原価	463	536
売上総利益	1,283	1,357
販売費及び一般管理費	1,584	2,000
営業損失 (△)	△ 301	△ 643
営業外収益	243	244
営業外費用	57	59
経常損失 (△)	△ 114	△ 458
特別利益	15	306
特別損失	49	82
税引前当期純損失 (△)	△ 148	△ 234
法人税、住民税及び事業税	15	17
法人税等調整額	△ 5	0
当期純損失 (△)	△ 158	△ 252

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	前期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 83	△ 1,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	270	771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 93	△ 93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94	△ 406
現金及び現金同等物の期首残高	176	583
現金及び現金同等物の期末残高	271	176

期末配当についてのお知らせ

当期の期末配当につきましては、まことに遺憾ながら、引き続き見送らせていただきます。

何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

香の川製麺は全店朝10時より営業中!

※2022年3月31日時点

「麺 1玉・2玉・3玉お値段同じ」サービスが、引き続き好評をいただいております!!

香の川製麺は、毎日丁寧にお店で仕込んだ讃岐うどんと出汁を310円(税込)〜という低価格で提供させていただいているセルフスタイルのうどん業態です。

各店舗には近隣の方を中心に大勢の方に ご来店いただいております。

また、香の川製麺全店で、すべてのうどんを対象に『麺 1玉、2玉、3玉 お値段同じ』のサービスは開始当初から幅広い客層・ご年齢の方より 大きなご支持をいただいております。

今後も香の川製麺は品質にこだわり、新しいサービスをお客様にご提供してまいります。ぜひ、お近くの香の川製麺にお越しください。

※一部店舗ではサービスと価格を変更させていただいております。



■香の川製麺 店舗一覧 (2022年3月31日現在)

店舗名	住所	電話番号	営業時間
茨木店	大阪府茨木市上穂東町2-10	072-627-3704	10:00 ~ 22:00
羽曳野店	大阪府羽曳野市野々上3丁目7番地1	072-953-6118	10:00 ~ 22:00
貝塚店	大阪府貝塚市石才230-1-1	072-432-1303	10:00 ~ 22:00
堺宿院店	大阪府堺市堺区中之町東1丁目1-30	072-232-1935	10:00 ~ 22:00
堺福田店	大阪府堺市中区福田1089-4	072-239-1400	10:00 ~ 22:00
美原店	大阪府堺市美原区平尾299-3	072-362-3202	10:00 ~ 22:00
守口大日店	大阪府守口市大日東町35-8	06-6905-1985	10:00 ~ 22:00
寝屋川昭栄町店	大阪府寝屋川市昭栄町11番40号	072-822-8117	10:00 ~ 22:00
泉大津店	大阪府泉大津市千原町1丁目57-1	0725-22-2173	10:00 ~ 22:00
狭山くみの木店	大阪府大阪狭山市茱萸木4-326-1	072-367-3474	10:00 ~ 22:00
住之江店	大阪府大阪市住之江区南加賀屋3丁目3-14	06-6681-7466	10:00 ~ 22:00
古市店	大阪府大阪市城東区古市3-22-23	06-6933-0215	10:00 ~ 22:00
長吉店	大阪府大阪市平野区長吉出戸7-2-67	06-6790-1598	10:00 ~ 22:00
鴻池店	大阪府東大阪市鴻池町2丁目7番16号	06-4309-2778	10:00 ~ 22:00
瓢箪山店	大阪府東大阪市若草町1-1	072-987-6584	10:00 ~ 22:00
八尾楠根店	大阪府八尾市楠根4-31-4	072-666-1140	10:00 ~ 22:00
枚方招提店	大阪府枚方市西招提町2174-1	072-866-5211	10:00 ~ 22:00
枚方津田店	大阪府枚方市津田北町1丁目32-22	072-858-5106	10:00 ~ 22:00
西大路七条店	京都府京都市下京区七条御所の内北町92番地	075-321-6326	10:00 ~ 22:00
山科店	京都府京都市山科区上花山坂尻町1番地	075-581-1892	10:00 ~ 22:00
向日店	京都府向日市鶏冠井町清水11番地	075-933-7176	10:00 ~ 22:00
奈良五位堂店	奈良県香芝市瓦口30-1	0745-78-8910	10:00 ~ 22:00
法隆寺店	奈良県北葛城郡河合町大字川合938-1	0745-56-5200	10:00 ~ 22:00
和歌山次郎丸店	和歌山県和歌山市次郎丸229-1	073-454-8071	10:00 ~ 22:00
築地橋店	和歌山県和歌山市舟津町1丁目10番地	073-428-0685	10:00 ~ 22:00
和歌山川辺店	和歌山県和歌山市里10-1	073-462-2250	10:00 ~ 22:00
伊川谷店	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬1356-1	078-974-4941	10:00 ~ 22:00

会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号	株式会社フレンドリー
英文商号	FRIENDLY CORPORATION
設立	昭和29年8月9日
資本金	50,000,000円
発行済株式総数	2,855,699株
本社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	飲食店経営

株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	6,180,000株
発行済株式総数	2,855,699株 (うち自己株式 3,718株)
株主数	4,749名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ジョイフル	1,496	52.45
株式会社きずな	155	5.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	65	2.30
吉江 克己	40	1.40
前田 保	25	0.88
重里 育孝	18	0.64
村中 いづみ	7	0.24
株式会社SBI証券	5	0.19
幸福米穀株式会社	4	0.17
須田 智恵	4	0.17

(注) 持株比率は、自己株式(3,718株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
(注) 自己株式(3,718株)を控除して計算しております。

役員

(2022年3月31日現在)

代表取締役社長	國吉 康信
取締役	小椋 知己
取締役	田之頭 悟
常勤監査等委員	若林 弘之
社外監査等委員	*渋谷 元宏
社外監査等委員	*後藤 研晶

(注) ※は社外監査等委員である取締役です。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
- 公告方法 電子公告
(<https://www.friendly-co.com/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
- お問合せ先 〒100-8241
(郵便物送付先) 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 電話0120-288-324
- 特別口座に関する事務取扱所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

株式会社フレンドリー

